

旭市道の駅建設準備委員会の会議結果

○第1回旭市道の駅建設準備委員会 平成24年4月25日（水）15:00~16:40

- 1 市長より各委員へ委嘱状の交付
- 2 役員選出（委員長 滑川公英委員、副委員長 古谷正委員）
- 3 事務局より今後のスケジュール及びコンセプトの説明
 - (1) 旭市の産業・観光・交流の拠点となるような道の駅を設置する。
 - (2) 大震災の経験を活かし防災にも配慮する。
 - (3) 平成24年度内に道の駅実施計画を策定する。
 - (4) 開業は平成27年度を目途とし準備を進める。

○第2回旭市道の駅建設準備委員会 平成24年5月24日（木）10:00~11:50

- 1 外部アドバイザー出席、意見交換
- 2 事務局より実施計画策定までの進め方について説明
- 3 重要項目検討事項
 - (1) 設置場所については7月中に候補地を絞り込み、その後用地交渉に入る。
 - (2) 道の駅に必要な施設及び規模を順次決定していく。
 - (3) 駅長の公募準備を進めるが、併せて推薦者についても委員会で検討する。
 - (4) 管理運営については、第3セクターか指定管理者で比較検討を行う。
 - (5) 直売施設へ納入する生産者募集・組織の設置について検討を行う。

第3回旭市道の駅建設準備委員会 会議録

日 時：平成24年6月27日（水）

午後3時～5時15分

場 所：旭市役所3階委員会室

事務局：企画政策課

1. 開会

2. あいさつ（委員長）

3. 議題

（1）外部アドバイザーからの調査結果報告

6月2日（土）に市内現地調査を行った結果を踏まえ、前回の商圈ごとの推察に加え、マーケティング調査結果での類似施設との競合状況整理、マーケットサイズの再検証、立地特性等により考察を行いA～Eの候補地ごとに評価をさせていただいた。

*資料により詳細の説明あり

【アドバイザーとの質疑応答】

委員：マーケットサイズ算出の111品目の中のメインは何と考えているのか？

→花、畜産、鮮魚も考えてはいるが、まずは野菜中心としている。

委員：他の道の駅と変わり映えないが。

→残念ながら大きな特徴はない。例えば熊本のメロンドームのようにその地域にメロンだけとなれば特徴も出せるが旭のように豊富な種類の製品があると逆に難しい。他の道の駅の状況を見ても結局は野菜の質（鮮度）、量等で繁盛しているところが多い。特徴を作るとすれば、鮮魚がカギになるだろう。

委員：旭は豚肉の大産地であるがその辺はどうか。

→畜産もおもしろいが、畜産系の場合品質がいくらよくてもブランドとして知名度がないと非常に取り扱いが難しい。まずはブランドの知名度アップからはじめないとならないだろう。

委員：E候補地は観光の拠点、景勝地として認識しているが、この報告書では評価が低い理由は。

→基本的に旭市は旅行等の最終目的地になる場所ではないと思われる。しかし、夏季観光客の動向や集客の多い観光施設の情報を提供いただければ今回データにプラスして再度検証できる。またD候補地については類似施設ではないが年間100万人が利用している旭中央病院を評価に加える必要があるとそうである。

→観光施設の入込み数の区切りとしては10万人以上、30万人以上、100万人以上とある。旭市内で相当数の入込施設があれば教えて欲しい。

事務局：刑部岬展望館が年間約25万人の入込がある。

(2) 設置場所の絞込みについて各委員からの意見

- 委員：競合店状況を重視していきたい。市場関係で見ると E 候補地はさけるべき。
- 委員：競合店の資料は見やすくてよいが、旭市は国道 126 号線と JR によって実際は分断されているため、今回資料と実情が若干違う。各農家からも国道を渡るのが大変という意見は多い。B 候補地は農業地帯と住宅地帯が混在していて、D 候補地もそれに近い状態。どこがよいのかは内部で協議したい。
- 委員：やはり今後の発展性も視野に入れた市場で決めるべき。そうすると高速バス等の関係もあるので D 候補地になってくるのでは？ B 候補地は厳しい。次には A 候補地ではないか。
- 委員：競合店がないということは市場がないから他店も出店しないということ。地元産品を売るのでからまずは市場で決めるべき。D 候補地がいいのでは。次は A 候補地ではないか。
- 委員：戻って報告し内部で協議したいが、個人的にはやはり D 候補地と A 候補地ではないか。
- 委員：地元店との競合はなるべく避けるべきでは？ 国道からのアクセス道を整備できれば E 候補地も可能性がある。
- 委員：旭市は通過点である。高速バスもあるので D 候補地だろう。観光客をターゲットにするのであれば E 候補地もあるのでは。
- 委員：今回資料は検討しやすくなって大変ありがたい。将来の高齢化を懸念すると D 候補地がよいのでは。道路も整備され千葉ナンバー以外の車も多く見かける。A 候補地も高得点だが旭市全体で見ると端の方に位置するのが難点。E 候補地は観光地であるが夏季以外は厳しいのでは？
- 委員：今回資料はよく調査してあると感じた。競合店の関係や市場を見ると、一番の候補は D 候補地。次は A 候補地。これから先細りになる場所は厳しい。D 候補地であれば市外者もキャッチできる。
- 委員：平成 27 年度には完成したいと考えているが、今後 A 候補地の路線は市役所通りへのアクセスは近年完成するが、北側の山上りの開通はまだ先になる。D 候補地も国道から広域農道への開通までの期間は随分かかる。C についてはアクセス性が乏しい。旭市は東西線が多いが南北線が少ない。
- 委員：地元と観光客どちらを主力とするか？ 立地条件を考えると D 候補地か A 候補地では？
- 委員：内部で協議したいが、個人的には車社会であるため、車での移動を考えると D 候補地か A 候補地だろう。
- 委員：他のケースを見ると公有地を活用するケースが多い。用地取得の問題が大きいと感じる。1 人でも買えない土地があっては完成しない。用地問題を重視すべき。そういった考えでいけば E 候補地なら飯岡中学校等の土地活用ができると思う。
- 委員：飯岡荘、飯岡中学校の土地活用問題もあるが、つくる以上は人に来てもらわなければならない。中央病院の存在は大きく、土地を購入するにしても D 候補地がよいのでは。地元の生産者が持ち寄る直売所とスーパーでは若干意味が違う。

委員：各委員の意見を聞いて3箇所への絞込みは決まった感はあるが、次回はアドバイザーにさらなる調査・比較検討をしてもらい、最終的に1箇所に決定したい。

(3) 駅長の選定方法について

事務局より資料の説明（駅長選定方法、管理運営方式）、協議は次回以降に行う。

(4) その他

参考となる道の駅の視察研修について、日程と場所の協議を行った。